

キャリア・パスポート（例示資料）

中 学 校

（指導者用）

中学生のみなさんへ

みなさんが
豊かな人生を
方への実現

生徒向けに記述していますが、保護者にも共通理解してもらえよう、キャリア・パスポートのねらいや育成したい力を伝えています。各ページを記入する時には、本ページに立ち戻って、基礎的・汎用的能力を意識することができるようにしましょう。

働しながら、
分らしい生き

《中学生活でさらに伸ばしてほしい4つの力》

【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

《例》

他者の個性を理解する力、他者に働きかけコミュニケーション・スキル、チームワークリーダーシップなど

【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

「4つの力」の解説には、難しい言葉も含まれるため、生徒の実態に合わせ、どのような力を伸ばせばよいのか、一人ひとりの生徒が具体的なイメージをもてるように、支援することが必要です。

【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力

《例》

情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など

【キャリアプランニング能力】

「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

《例》

学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、中学生活を振り返ったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。

〇〇中学校のみなさんへ

地域や学校の実態に合わせてメッセージを加えます。項目の順番・内容については必ずしもこの限りではありません。

〇〇中学

中学校生活における成長を思い描き、楽しみにすることができるよう、温かいメッセージを送りましょう。

学校の教育目標をふまえ、〇〇中学校の生徒として、卒業までに身に付けてほしい力を具体的に示すことで、生徒・教職員・保護者・地域での共通理解を図ります。

キャリア・パスポートを作成するねらい

〇〇中学校でのキャリア・パスポートの活用方法やねらいなどを明確に示します。学んだことや生活を振り返る意義や、PLAN(計画)・DO(実行)・CHECK(評価)・ACTION(改善)のサイクルで見通しをたてる習慣の必要性などを伝えます。

生徒たちへのメッセージ

このページ全体が生徒へのメッセージとなりますが、ここでは、各学年で身に付けてほしい力等を段階的に整理して具体的に表したり、中学校生活で特に大切にしてほしいことを伝えたりするなど、上記以外にも生徒に伝えたい内容をメッセージとして送ります。

〇〇年 4 月
〇〇中学校 校長 ▲▲ ▲▲

中学 1 年生 学年初め

年 月 日

○今の自分を振り返る

今の自分（自己PR）

中学校において、初めてキャリア・パスポートに記入するページとなります。新たな気持ちで意欲的に学びに向かえるように支援しましょう。

（工夫例）小学校のキャリア・パスポートの活用

教師自身の例示

私の自己PR（自分のよきところ）

- ・中学生時代のパスポートの原点となるので、自分自身を客観的に見つめ、自分の良さを伸ばそうと肯定的に捉えて記入できるように、記入場面や時間設定を含め丁寧に取り組みます。
- ・記入できない生徒へは、教師や友達からの他者評価を参考にさせるなど、個別に支援を行うことが必要です。
- ・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないう配慮します。

こんな大人になりたい（将来の夢）

- ・職業を記入する生徒も、「〇〇な大人になりたい」といった自己成長をイメージする生徒もいます。両方を認めた上で、「そのために、つきたい力」を考えさせます。

- ・表紙裏の「伸ばしてほしい4つの力」を意識して、なりたい自分について考え、見つめさせることが大切です。

○なりたい自分になるために身につけたいこと（目標）と、そのために取り組みたいこと

学習面の目標

そのために

生活面の目標

- ・小学校キャリア・パスポートを見ながら振り返ることで、自分の送りたい中学校生活の具体的な場面を想定させながら記入させます。
- ・多様な場面での経験を通して、困難や失敗にくじけずに努力し続けることの大切さに気付くことが、生徒の夢や目標の実現につながります。できるだけ具体的な場面を例示しながら記入させると良いでしょう。

家庭・地域での目標

そのために

- ・この1年の自分の成長が楽しみになるような、また、その成長を心から期待している一人の大人として記入します。具体的な項目に対して肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでもかまいません。

- ・支援が必要な家庭は、個別対応も検討します。
- ・さまざまな環境で生活する生徒がいるため、コメントを記入する人については、学校の実態に合わせた表現にする等、検討が必要です。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

- ・一番身近な大人である教員や保護者から認められるメッセージは生徒にとって励みになります。生徒が自分の中に新たな可能性を見出したり、自尊感情や自己有用感を高めたりすることにつながる言葉を記入しましょう。

- ・保護者へは、メッセージを記入してもらうことの意義を説明します。生徒が取り組もうとしていることを家庭と共有し、認めてもらうことが大切です。

（工夫例）学年便り等での趣旨説明と依頼・家庭訪問時に依頼など

中学 1 年生 学期を振り返ろう

実生活と関連させて振り返ることで、現時点の自分を見つめるからこそ、
今後への見通しをもつことができ、将来へもつながります。
本活動の意義を、しっかりと生徒と共有しましょう。

○今学期を振り返る

学期初めに	振り返り	あてはまる	あてはまる	あてはまらない	あてはまらない
自分の気持ちに一番近いところにあると思う					
学	・記入の際には、学期における主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。				
生					
家	・身につけようと思ったことが身についたかどうか自己評価することを通して自分自身の成長を実感することができるように促します。				
身につけようと思ったことが身についたと思う					
その他（習い事・資格取得など）で					
身につけようと思ったことが身についたと思う					

○各項目の振り返りと、今後、挑戦・行動しようと思うこと

学習面で	今後は	・これからの抱負を考えることで、自分の良さをさらに伸ばしたいことや、自分が努力すること等を具体的に考えられるようにします
生活面で	今後は	
家庭や地域で	今後は	
その他（習い事・資格取得など）で	今後は	

・地域（社会）の一員としての自分を意識することができるよう促します。

今学期を振り返って、新しく発見したこと、気付いたこと

・キャリア発達につながる学習等を振り返ることで、自分の将来や働くことの大切さ、大変さややりがい等を改めて見つめ直すことが大切です。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

・次学期の初めの目標に向け、頑張ったことを具体的にほめる・認める記述が大切です。

中学 1 年生 学年末

○この1年間を 1年間の自分の成長を見つめ、来年度への自己成長や学習・生活意欲につなげる大切な機会としましょう。

自分の気持ち	各学校の生徒の実態に合わせ、設問を検討します。補足説明の必要がある場合は、丁寧に行いましょう。	あり ていな	ほとんど してい ない
--------	---	-----------	-------------------

① 友達や家の人の意見を聞く時、その上からや気持ちを受け止				
・記入の際には、1年間の主な学習や生活の終				

②	記入の際には、1年間の主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。	えや気持ち
③		の人と力を

④ 自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしていましたか。

⑤ あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしましたか。

⑥ 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしましたか。

⑦ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。

⑧ 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。

⑨ 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。

⑩ 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考える
など、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。

⑪ 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。

⑫ 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。

・身につけようと思ったことが身についたかどうかを振り返り、自己評価させます。

結果を数値化することで、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることができそうです。

○この1年間を振り返って、頑張ったこと（成長できたと思うこと）とその理由

学習面で

生活面で

家庭や地域で

その他（習い

- ・生徒自身が具体的な場面を思い起こしながら、自分の成長を実感することができるようにします。
- ・自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、次年度の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。
- ・記入できない生徒への支援を行うことが必要です。
 - （工夫例）教師や友達からの他者評価を参考にさせる

教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようする。

- ・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮が必要です。
- ・頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理させると良いでしょう。

- ・自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、次年度の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。

- ・記入できない生徒への支援を行う必要があります。

(工夫例) 教師や友達からの他者評価を参考にさせる

教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようする。

- ・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮が必要です。

- ・頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理させると良いでしょう。

○なりたい自分になるために身についたと思う力と、その理由

身についたと思う力	理由
	・具体的な場面を思い起こしながら、客観的に振り返ることができるようにします。

○2年生になる自分への応援メッセージ

・2年生でのなりたい自分をイメージさせて、前向きな思いを記入できるようにします。

○卒業する時の自分（15歳の私）を想像しよう

卒業するときに、どんな自分になっていたいか	・中学校卒業時の自分をイメージして、自分の良さを伸ばしたいことや、克服したいことを考えさせます。 （工夫例）卒業式での先輩の言葉や様子を紹介する 15歳の卒業時の姿を紹介する など
15歳のあなたが選んでいる道（進路）	
そう思った理由やきっかけ	・進路・将来の夢・職業・大切にしたいこと・挑戦したいことなど、さまざまな角度からの記入を認めましょう。
15歳でなりたい自分に近づくために、今、頑張りたいこと	・自分の進路を考え、今何をすべきなのか、大切にしたいことや努力したいことを記入することができるよう促します。

先生からのメッセージ	保護者などからのメッセージ
・1年間、生徒の成長を身近で見取ってきた大人の一人として、次年度に向け、更なる成長を心から期待して記入します。 生徒の考えを日頃の行動をつなげて、肯定的な言葉で伝えましょう。短いメッセージでもかまいません。	

中学2年生 学年初め

月 日

○今の自分を見よう

今の自分（自己）

新しい学年がスタートして最初のパスポート記入となります。新たな気持ちで意欲的に学びに向かえるように支援しましょう。

（工夫例）小学校や中学1年生時のパスポートの活用

教師自身の例示

私の自己

- ・ 中学1年生学期末の記述をもとに、2年生になり後輩をもった立場になった自分自身を、改めて客観的に見つめ、自分の良さを伸ばそうと肯定的に捉えて記入できるように、記入場面や時間設定を含め丁寧に取り組みます。
- ・ 記入できない生徒へは、教師や友達からの他者評価を参考にさせるなど、個別に支援を行うことが必要です。

こんな大人に

- ・ 無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮します。

職業を記入する生徒も、「〇〇な大人になりたい」といった自己成長をイメージする生徒もいます。両方を認めた上で、「そのために、つきたい力」を考えさせます。

表紙裏の「伸ばしてほしい4つの力」を意識して、なりたい自分について考え、見つめさせることが大切です。

○なりたい自分になるために身につけたいこと（目標）と、そのために取り組みたいこと

学習面の目標

そのために

生活面

- ・ 中学校1年生の学期末に記入したものをしながら振り返ることで、自分の送りたい中学校生活の具体的な場面を想定させながら記入させます。
- ・ 多様な場面での経験を通して、困難や失敗にくじけずに努力し続けることの大切さに気付くことが、生徒の夢や目標の実現につながります。できるだけ具体的な場面を例示しながら記入させると良いでしょう。

家庭・地域での目標

そのために

この1年の自分の成長が楽しみになるような、また、その成長を心から期待している一人の大人として記入します。具体的な項目に対して肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでもかまいません。

- ・ 支援が必要な家庭は、個別対応も検討します。
- ・ さまざまな環境で生活する生徒がいるため、コメントを記入する人については、学校の実態に合わせた表現にする等、検討が必要です。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

・ 一番身近な大人である教員や保護者から認められるメッセージは生徒にとって励みになります。生徒が自分の中に新たな可能性を見出したり、自尊感情や自己有用感を高めたりすることにつながる言葉を記入しましょう。

・ 保護者へは、メッセージを記入してもらうことの意義を説明します。生徒が取り組もうとしていることを家庭と共有し、認めてもらうことが大切です。

（工夫例）学年便り等での趣旨説明と依頼・家庭訪問時に依頼など

中学2年生 学期を振り返ろう

年 月 日

○今学期を振り返る

実生活と関連させて振り返ることで、現時点の自分を見つめるからこそ、今後への見通しをもつことができ、将来へもつながります。

本活動の意義を、しっかりと生徒と共有しましょう。

学期初め

自分の気持ちに一番近いところに○をつけよう

る

る

ならない

あてはまらない

学習面で

記入の際には、学期における主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。

身につけようと思ったことが身についたかどうか自己評価することを通して自分自身の成長を実感することができるよう促します。

身につけようと思ったことが身についたと思う

○各項目の振り返りと、今後、挑戦・行動しようと思うこと

学習面で

今後は

生活面で

今後は

家庭や地域で

今後は

その他（習いごとなど）

今後は

友人や地域の方等、他者とのかかわりを振り返り、成長のきっかけとなったこと等も記入させて、今後へつなげるようにします。

これからの抱負を考えることで、自分の良さをさらに伸ばしたいことや、自分が努力すること等を具体的に考えられるようにします。

今学期を振り返って、新しく発見したこと、気付いたこと

キャリア発達につながる学習等を振り返ることで、自分の将来や働くことの大切さ、大変さややりがい等を改めて見つめ直すことが大切です。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

次学期の初めの目標に向け、頑張ったことを具体的にほめる・認める記述が大切です。

中学2年生 学年末

○この1年間を振り返る
1年間の自分の成長を見つめ、来年度への自己成長や学習・生活意欲につなげる大切な機会としましょう。

自分の気持ち	ほとんどしていない	ほとんどしている
⑬ 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めたか。		
⑭ 1年間の主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があったか。		
⑮ 身につけようと思ったことが身についたかどうかを振り返り、自己評価させます。		
⑯ あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしましたか。		
⑰ 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしましたか。		
⑱ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。		
⑲ 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。		
20 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。		
21 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。		
22 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。		
23 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。		

○この1年間を振り返る

学習面で	・ 記入の際には、義務教育最後の1年を迎えようとしていることを、生徒と共有しましょう。
生活面で	・ 生徒自身が2年生での具体的な場面を思い起こしながら、自分の成長を実感することができるようにします。
家庭や地域で	・ 自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、次年度の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。
その他（習いごと等）	・ 記入できない生徒への支援を行うことが必要です。 （工夫例）教師や友達からの他者評価を参考にさせる 教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようにする。
	・ 無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないう配慮が必要です。
	・ 頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理することができるよう支援します。
	・ 3年生でなりたい自分や30歳の自分に生かせるように促します。

○なりたい自分になるために身についたと思う力と、その理由

身についたと思う力	理由
	・具体的な場面を思い起こしながら、客観的に振り返ることができるようにします。

○3年生になる自分への応援メッセージ

・よりよい3年生としての、なりたい自分をイメージさせて、前向きな思いを記入できるようにします。

○将来の自分（30歳の私）を

30歳のとき、どんな自分になるか	・30歳の将来の自分をイメージして、自分の良さで伸ばしたいことや克服したいことを考えさせます。 （工夫例） ・生徒にとって「30歳」がイメージしにくい可能性もあるので、何人かの「30歳」を紹介する ・30歳の先輩のお話を聞く活動 など
そんな30歳のあなたがして欲しいこと	・例示する際には、イメージが固定化したり、一つの生き方を評価したりするものにならないよう、配慮が必要です。性別や職業、生き方など生徒の視野を広げることができるようにします。
そう思った理由やきっかけ	・進路・将来の夢・職業・大切にしたいこと・挑戦したいことなど、さまざまな角度からの記入を認めましょう。
そのために、どんなことをしたらよいか	・自分の進路を考え、今何をすべきなのか、大切にしたいことや努力したいことを記入することができるよう促します。

先生からのメッセージ	保護者などからのメッセージ
・1年間、生徒の成長を身近で見取ってきた大人の一人として、次年度に向け、更なる成長を心から期待して記入します。生徒の考えを日頃の行動をつなげて、肯定的な言葉で伝えましょう。短いメッセージでもかまいません。	

中学3年生 学年初め

月 日

○今の自分を

今の自分

・義務教育最後の1年であり、それぞれの進路を切り拓く1年であることを生徒と共有したうえで、本シートに記入することができるようにします。

・新しい学年がスタートするにあたり、新たな気持ちで意欲的に学びに向かえるよう支援しましょう。

(工夫例) 小学校や中学1・2年生時のパスポートの活用

教師自身の例示

私の自己PR

・中学2年生学期末の記述や30歳の自分をイメージした記述をもとに、1・2年生の自分と3年生になった今の自分自身を、改めて客観的に見つめ、自分の良さを伸ばそうと肯定的に捉えて記入できるように、記入場面や時間設定を含め丁寧に取り組みます。

・記入できない生徒へは、教師や友達からの他者評価を参考にさせるなど、個別に支援を行う必要があります。

・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないよう配慮します。

こんな大人にな

○な
学

職業を記入する生徒も、「○○な大人になりたい」といった自己成長をイメージする生徒もいます。両方を認めた上で、「そのために、つきたい力」を考えさせます。

(目標)
そのため

表紙裏の「伸ばしてほしい4つの力」を意識して、なりたい自分について考え、見つめさせることが大切です。

生活面

・中学校2年生の学期末に記入したものをしながら振り返り、義務教育最後の学年を自覚させることが大切です。中学校生活最後の年の具体的な場면을想定させながら記入させます。

・多様な場面での経験を通して、困難や失敗にくじけずに努力し続けることの大切さに気付くことが、生徒の夢や目標の実現につながります。できるだけ具体的な場면을例示しながら記入させると良いでしょう。

家庭・

この1年の自分の成長が楽しみになるような、また、その成長を心から期待している一人の大人として記入します。具体的な項目に対して肯定的な言葉で書きましょう。短いメッセージでもかまいません。

そ

・支援が必要な家庭は、個別対応も検討します。
・さまざまな環境で生活する生徒がいるため、コメントを記入する人については、学校の実態に合わせた表現にする等、検討が必要です。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

・一番身近な大人である教員や保護者から認められるメッセージは生徒にとって励みになります。生徒が自分の中に新たな可能性を見出したり、自尊感情や自己有用感を高めたりすることにつながる言葉を記入しましょう。

・保護者へは、メッセージを記入してもらうことの意義を説明します。生徒が取り組もうとしていることを家庭と共有し、認めてもらうことが大切です。

(工夫例) 学年便り等での趣旨説明と依頼・家庭訪問時に依頼など

中学3年生 学期を振り返ろう

○今学期を振り返る

学期初めに自分の気持ちに一番近いところに○をつけよう

学習面で

身につけようと思ったことが身についたと思う

実生活と関連させて振り返ることで、現時点の自分を見つめるからこそ、今後への見通しをもつことができ、将来へもつながります。

本活動の意義を、しっかりと生徒と共有しましょう。

年 月 日

あてはまる	あてはまらない	あてはまらない
-------	---------	---------

記入の際には、学期における主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。

身につけようと思ったことが身についたかどうか自己評価することを通して自分自身の成長を実感することができるよう促します。

○各項目の振り返りと、今後、挑戦・行動しようと思うこと

学習面で	今後は
生活面で	今後は
家庭や地域で	今後は
その他（習いごと等）	今後は

社会の一員としてのかわりを持ち、成長のきっかけとなったこと等も記入させて、今後へつなげるようにします。

これからの抱負を考えることで、自分の良さをさらに伸ばしたいことや、自分が努力すること等を具体的に考えられるようにします。

今学期を振り返って、新しく発見したこと、気付いたこと

キャリア発達につながる学習等を振り返ることで、自分の将来や働くことの大切さ、大変さややりがい等を改めて見つめ直すことが大切です。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

次学期の初めの目標に向け、頑張ったことを具体的にほめる・認める記述が大切です。

中学3年生 学年末

年 月 日

○この1年間

1年間の自分の成長を見つめ、卒業後のさらなる成長や新しい進路先における意欲につなげる大切な機会としましょう。

各学校の生徒の実態に合わせ、設問を検討します。補足説明の必要がある場合は、丁寧に行いましょう。

自分の気持ち

あまり
してい
ない

ほとん
どしてい
ない

25 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしたか。

記入の際には、1年間の主な学習や生活の経験、地域関連のできごとを提示するなど、生徒自身が振り返る際の支援となるような工夫があると良いでしょう。

の考えや気持ち

周りの人と力を

把握しようとし

- ・身につけようと思ったことが身についたかどうかを振り返り、自己評価させます。
- ・結果を数値化することで、卒業後の目標設定の参考に、役立てることができます。
- ・1・2年生の時の様子と比較することで、成長をより実感することができます。

29 あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしましたか。

30 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしましたか。

31 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集しましたか。

32 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができましたか。

33 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えましたか。

34 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えましたか。

35 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えましたか。

36 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力しましたか。

○この1年間

学習面

生活面で

家庭や地域

その他（

- ・記入の際には、義務教育を終えようとしていることを、生徒と共有しましょう。
- ・生徒自身が3年生での具体的な場面を思い起こしながら、自分の成長を実感することができるようになります。
- ・自分の成長を見取り、その理由を考えることで自分自身を深く振り返り、今後の成長や意欲につなげることができるように、じっくり考えさせることが大切です。
- ・記入できない生徒への支援を行うことが必要です。
(工夫例) 教師や友達からの他者評価を参考にさせる
教師が見取った成長やその理由について、言葉かけを行いながら、生徒自身が自分の成長に気づくことができるようにする。
- ・無理にすべて埋めさせるなどの指導が行われないう配慮が必要です。
- ・頑張れなかったことがあれば、その理由についても整理することができるよう支援します。
- ・将来の自分に生かせるように促します。

18歳の私へ ～小学校1年から中学校3年までの9年間～

○小学校

- ・小学生や中学1・2年時のパスポートをぜひ活用しましょう。
- ・いじめや不登校等、振り返ることに配慮を要するケースもあります。生徒がどのような9年間を過ごしてきたのか把握できるよう、小中連携の視点や取組も大切となります。
- ・18歳の私に伝えるメッセージとして、自分に向けて書きます。小学校の時に記入したシートと見比べることで、自分の成長に気付く機会となるように支援します。

月 日

○中学校3年間で一番心に残っていることを18歳の私へ伝えよう

小学生や中学校時代に書いてきた、今までのキャリアパスポートを見ながら、自分自身を見つめ直し記入することができるようにします。
(工夫例) 卒業アルバムの活用 など

○将来の自分を想像し

どんな人になっていたか

・上記に記入した自分の成長を振り返ったうえで、将来のなりたい自分について、じっくり考えさせることが大切です。

・教員自身の15歳時の気持ちを例示することもできます。

った理由やき

職業を記入する生徒も、「〇〇な大人になりたい」といった自己成長をイメージする生徒もいます。両方を認めた上で、「そう思った理由やきっかけ」を考えさせます。

○小・中学校9年間

に向けて手紙を書こう

自分自身の

- ・今の自分を見つめ、9年間での成長を実感し、自己肯定感を高めて、将来の自分をイメージすることで、前向きに取り組むことができるようにします。
- ・将来の自分の姿を具体的にイメージさせて、大切にしようと思うこと等をもとに自分への温かい応援メッセージを記入することができるように支援します。

先生からのメッセージ

メッセージを読んで気付

1年間、生徒の成長を身近で見取ってきた大人の一人として、今後、新たな進路先における更なる成長を心から期待して記入しましょう。夢や目標に向かっていけるような視点で励ましの言葉を伝えます。短いメッセージでもかまいません。

※ 本様式は例示であり、学校で活用している既存の様式があれば、そちらを活用してください。

体験活動（職場体験活動）

（職場体験活動前）

記入日 年 月 日

職場

- ・体験活動の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。
- ・教師が生徒に対して、本体験活動においてどのような経験や成長をすることを願っているのか

「働くこと」についての今の考え（「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか）

職場体験活動先

体験活動先で、どんな力をつけたいのか、
そのためにどのような活動をしたいのかを具
体的に考え、記入できるように支援します。

職場体験活動を通して学ぶこと（なぜ、自分は職場体験活

自分の課題（生かしたい・伸ばしたい自分のよさ・知りた

・自分自身を見つめ、伸ばしたいことや学び
たいことが記入できるようにします。

（職場体験活動後）

記入日 年 月 日

職場体験活動

- ・体験活動の前に学びたかったことなどと比べて、実際の活動を振り返り、具体的に記入することが大切です。
- ・生徒自身が自分の言葉で体験活動を価値付けできるようにしましょう。

職場体験活動で、楽しかったこと・うまくいかなかったこと

職場

成功体験だけでなく、うまくいかなかった
こと等も、今後の自分の成長につながる貴重
な経験であることを伝えます。

新し

事前・事後に「働くこと」について向き合
うことで、生徒自身が自己の変容に気付くこ
とができるようにします。

「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）

- ・体験先にメッセージをいただく際には、事前（体験前）に依頼しておきましょう。また、体験後のお礼の挨拶等の際には、あらためて丁寧な依頼が必要です。
- ・メール等でメッセージをいただく方が先方の負担が少ないことも考えられます。柔軟な対応が必要です。

お世話になった方や保護者からのメッセージ

先生からのメ

- ・社会とのかかわりや人とのつながりが意
識できるようメッセージを記入します。
- ・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取
り記入することが大切です。
- ・短いメッセージでかまいません。

メッセージを読んで考えたこと

※ 本様式は例示であり、学校で活用している既存の様式があれば、そちらを活用してください。

学校行事等（〇〇について）

※体育祭、合唱コンクール、修学旅行等

（事前）

〇〇で

そう思

- ・学校行事の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。
- ・教師が生徒に対して、本学校行事においてどのような経験や成長をすることを願っているのか、どのような意義のある学習なのか、丁寧に伝えた上で、記入させましょう。
- ・学校行事に関連する他のワークシートとの活用場面の整理が必要となります。
 - 思いきって、従来のワークシートを本シートに集約する
 - 詳細な場面ごとのワークシートの重要ポイントのみを抜粋したシートとして、本シートを次年度にも引き継ぐべき、まとめの1枚とする

日

目標を達成するために準備すること

学校行事の目的や自分の役割を考え、どのように行動するのかを記入することができるように、支援します。

（事後）

記入日

年

月

日

目標を達成するために、がんばったこと

心に残っていること

自分が成長したと思うこと

学校行事での体験と実生活とを関連付けて、気付いたことや取り組みたいこと、思ったこと等、自分が成長したことを記入することができるようにします。

今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたい

体験での学びと日常生活の学びをつなぐことができるように、個人や集団での対話を行い記入させると良いでしょう。

先生が

- ・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取り記入することが大切です。
- ・学校での経験と社会をつなぎ、生徒の意識が高まるメッセージを送りましょう。
- ・短いメッセージでかまいません。

メッセージを読んで考えたこと

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) ○○中学校 特別活動
- (2) 1 学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材「この1年間の成長を振り返ろう」
- (4) 事前の指導（活動）
- ▶ 小学校6年時の「キャリア・パスポート」を準備する
 - ▶ 中学校1年での学期ごとの「キャリア・パスポート」を準備する
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶ 中学入学後から今までを振り返る ・ 学習面、生活面、家庭や地域で	▶ 学期ごとの「キャリア・パスポート」を活用し、自分の成長を振り返るよう支援を行う
展開	本時のねらいを確認する ▶ 友だちとの共有し互いの成長を確認し合う。 ▶ 6年生時に書いた「理想の中学生」のページを確認する。 ・ 6年生時と今との記述を比較して感じたことを話し合う ・ 付箋を準備し、自分や友だちの変容について記入し貼る ▶ 気付いた内容について、クラス全体で共有する。 ・ 成長の理由も合わせて考える。 ▶ 2年生になる自分への応援メッセージを書く	・ 1年間のがんばりを友だち同士で共有し、互いの成長を教えあえるようにする。 ・ 自己変容に気付けるように個別支援を行う。 ・ 付箋を活用することで、成長を可視化できるように工夫する。 ・ 理由を考えることで、成長が自覚できるようにする。 ・ 短期間の目標と中期間の目標を考えさせることで、具体的に行動することを考えさせる。
終末	▶ そのために今、がんばる事を記入し発表する。 共有	▶ 具体的な取組について、意思決定をし、実践へつなげるようにする。

- (6) 事後の指導（活動）
- ▶ 中学校2年・3年のなりたい自分に向け、意思決定したことが実践できるようがんばりカードを記入していく。
 - ▶ 「キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を活用することで、自己理解をさらに深められるようにする。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) ○○中学校 特別活動
- (2) 2 学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- (3) 題材「30 歳になった自分を見つめよう」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 職場体験活動の実施
 - ▶ 「キャリア・パスポート」(職場体験活動事後版) を各自記入させておく
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶職場体験活動後で、気付いたことを話し合おう ・伸ばせたこと ・新しく発見したこと ・働くことへの考え	▶記入済みの職場体験活動後のキャリア・パスポートを活用し、伸ばせたことや新しく発見したこと等を具体的に伝えられるよう声かけを行う
展開	▶友だちとの共有したことを踏まえ、これからの自分の進路や将来について考えていることについて発表する。 ▶30 歳になった自分を見つめよう。 キャリア・パスポートに記入する。 ・30 歳の自分へどんな言葉かけをしたいか ・30 歳の自分がどんな仕事をしているのか。そのことに興味を持った理由 ▶記入した内容についてグループで話し合う。 ・記入後、グループで話し合う。 ・グループでの話し合い後、クラス全体で共有する。	・学級内での対話と 30 歳の自分について考える活動がつながって話し合えるように支援する。 ・職場体験でお世話になった人々のことも思い出させる。 ・グループ活動では、付箋に記入したものを貼っていくなど、意見が可視化できるように工夫する。 ・学級全体での話し合いを通じて、自分自身のよさや興味関心など、多面的・多角的に自己理解が深まるよう意見を引き出す工夫をする。
終末	▶自分が思う 30 歳になるために、今、何をしていくべきかをキャリア・パスポートに記入する。 共有	▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ 1 年生の際に書いていた「15 歳の自分」のページを見直す。
 - ▶ 「キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を各自書いてもらう。」
 - ▶ 職場体験を実施した事業所(受入先)への礼状を書く

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) ○○中学校 特別活動
- (2) 3 学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ウ 主体的な進路の選択と将来設計
- (3) 題材「18 歳の私へ」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶小学校とこれまで記入した中学校の「キャリア・パスポート」を準備しておく
 - ▶実態に応じて卒業アルバムの活用も考えられる
 - ▶生徒自身による 9 年間の軌跡を思い起こすグループワークを行ってもよい
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶本時のねらいを確認 「18 歳の私へ手紙を書こう」 ～小学校 1 年から中学校 3 年までの 9 年間を振り返る～ ▶小学校生活や中学校生活で心に残っていることを、クラス全体で交流	▶小学校とこれまで記入した中学校の「キャリア・パスポート」を活用し、これまでの自分を振り返り、意欲的に 18 歳の自分へメッセージを送ろうと取り組めるように支援する
展開	▶友達と共有した思い出などを踏まえ、自分自身の小学校 6 年間と中学校 3 年間を振り返る ・頑張ったことなどを 3 年後の自分に伝える気持ちで自分に向けて記入する ▶自分の成長を振り返った上で、将来の自分を想像する ・どんな人になっていきたいか ・そう思った理由やきっかけ ▶記入した内容についてグループで話し合う ・9 年間で成長したと感じたことや、将来の自分のイメージを伝え合う ・将来の自分のイメージに近づくためにどんなことが大切か話し合う ・グループでの話し合いの後に、クラス全体で共有する	▶記録のみの時間とならないように留意する ▶じっくりと、自分と向き合う時間を大切にしたい ▶9 年間での成長を実感し、将来の自分をイメージすることで前向きに取り組む態度を育成する ▶肯定的に認め合う雰囲気大切に ▶グループでの話し合いを通して自己理解が深まるように声をかける
終末	▶18 歳の私へ向けて手紙を書く ・将来の自分の姿を具体的にイメージして、大切にしようと思うことなどをもとに手紙を書く	▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶小学生の時に書いていた将来の自分へのメッセージと読み比べてみる。
 - ▶先生や保護者からメッセージをもらい、読んで気付いたこと、考えたことを記入する。
 - ▶実際 18 歳になった時には、ここで書いたことを読み、自分の言葉に力をもらえるようにしたい。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度始め

- (1) 中学校 特別活動
- (2) 1 学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』
- (4) 事前の指導（活動）
 - ▶「〇〇中学校のみなさんへ」を確認しておく。
 - ▶（多様な価値観がある）異なる個性の集まった集団でも、自分も相手も居心地よい環境がつけられることを説明する。
- (5) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』について確認 ▶これから行う活動の流れについて指示	
展開	▶個人で「〇〇中学校へ入学して」（ワークシート）を記入する。 ▶中学校 2 年生からのメッセージ（「〇〇中学校へようこそ！ 〇〇中学校はこんなところ」）をグループ内で回覧する。 ▶自分が「このメッセージが良いな、共感するなと感じたもの」をグループ内で話し合う。 ▶「なぜ、そのメッセージが良いと感じたか」をグループ内で相互に質問をする。 ▶中学校 2 年生からからのメッセージや、クラスメイトとのグループ協議を通じて感じたことや考えたことなどをワークシートにまとめる。	▶生徒が現在の気持ち（期待や不安）を素直に表現できるよう、クラスの雰囲気等に配慮する。 ▶時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫 ▶他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。
終末	▶「中学生のみなさんへ」や「〇〇中学校のみなさんへ」を読み、中学校においてさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、中学校で引き続き「キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。	▶中学校において、学習面や生活面においての目標、家庭や地域での目標、その他資格取得等、具体的に取り組みたいことを考えさせる。

- (6) 事後の指導（活動）
 - ▶このあと、中学校 1 年生学年初めの「キャリア・パスポート」の作成時間を設定する。
 - ▶「〇〇中学校へ入学して」は学年末に記入する「1 年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」時に、生徒に返却する。
 - ▶「〇〇中学校へ入学して」や作成したワークシートは担任との面談などにも活用する。
- (7) 4 月中での実施を想定している。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度終わり

(7) 中学校 特別活動

(8) 1 学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

(9) 題材『1 年間を振り返り、新入生へ〇〇中学校紹介 (メッセージ) を書こう』

(10) 事前の指導 (活動)

▶小学校から持ち上がった「キャリア・パスポート」を見返しておく

▶中学校 1 年生で記入した「キャリア・パスポート」を見返しておく

(11) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶「1 年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」について確認 ▶これから行う活動の流れについて指示	
展開	▶1 学期に書いた「〇〇中学校へ入学して」、中学 1 年学年初めと、各学期末の「キャリア・パスポート」をもとに、入学したころの自分と一年間の自己の成長を個人で振り返る。 ▶自己の成長のきっかけとなったできごとや、成長を支えてくれた人やものなどについて、個人で振り返った内容をグループ内で話し合う。 ▶自分の発表に対するクラスメイトのコメントや、クラスメイトの発表を聞いて感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 ▶個人での振り返りやワークシートの内容をもとに、新入生へ「〇〇中学校へようこそ！〇〇中学校はこんなところ」を作成する。	▶時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫 ▶他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。 ▶入学時の期待と不安な気持ちをもった自分自身に応援メッセージを送るつもりで考えさせる。
終末	▶入学から学年末まで、授業やさまざまな行事を通して、どのような力が身についたのかイメージする。 ▶「中学生のみなさんへ」や「〇〇中学校のみなさんへ」を読み、2 年生に進級するにあたりさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。	

(12) 事後の指導 (活動)

▶学年末の「キャリア・パスポート」を作成する

(7) 実施時期

2～3 月中の実施を想定している。